

教職員の皆さんへ -令和4年度 年度始め 学長メッセージ-

2022年度の始まりに際して一言ご挨拶申し上げます。

寒さ厳しく長かった冬もようやく終わり、日増しに暖かな陽気になり、春の装いを感じる季節となりました。キャンパス内の木々も芽吹いてきて、また緑豊かなキャンパスになるかと思うとワクワクいたします。

さて、学長に就任して本当に早いもので2年が経ちましたが、今までに、日本では、新型コロナウイルス感染症の6波に及ぶ感染拡大が起き、今でも収束が見通せない状況にあります。このような中でも、昨年度は、教育の質保障への取組、新たな戦略的研究領域の指定、埼玉医科大学との共同研究の開始、埼玉県立大学との包括連携協定の締結、ダイバーシティ環境整備の推進、学生への緊急支援奨学金の給付やフード支援などの成果を残すことができました。

特に教育に関しては、学びを止めないことを第一に考えて進めて参りました。昨年度の授業は、対面での授業をできるだけ増やすという方針のもと、ハイフレックス方式、オンデマンド方式、リアルタイム Zoom 方式を取り入れて行いましたが、遠隔授業の実施が2年目になったこともあり、大きなトラブルもなく授業が継続できました。これも、教職員の皆様、特に直接教育に当たられる先生方のご努力の賜物と深く感謝申し上げます。

新年度は、原則、対面授業として開始いたします。2年ぶりに学生がキャンパスに来て、以前の活気が戻るとともに、学生間の交流も活発になることを大いに期待しているところです。とはいえ、新型コロナウイルス感染症の脅威が完全に去ったわけではありませんので、マスク着用、換気、着座位置確認システムへの入力指示など、引き続き感染拡大防止のためのルール遵守を徹底した上での授業展開としたいと思います。

大学執行部では、今後も、常に学内の感染状況をモニターし、部局長との意見交換のもと、対応を検討してまいります。状況により、再び遠隔授業の導入が必要になる可能性も排除できません。場合によっては、さまざまなご対応をお願いすることになるかもしれませんが、感染拡大防止と学びの継続のためとご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

さて、今日から新たに第4期中期目標・中期計画期間が始まります。昨年度、理事および副学長を中心に、部局のご意見を聞きながら中期計画を作成しました。今後、第4期中期目標期間における計画を着実に進めるため、中期計画に合わせて、本学自ら年度計画も策定

いたしました。各部局におかれましては、今一度、計画を確認し、達成に向けての取組を実施いただければと存じます。

なお、本学の第4期中期目標・中期計画のエッセンスを「埼玉大学 Action Plan 2022 - 2027」として、4つのVisionと12の取組としてまとめました。Vision1は「地域人材・グローバル人材育成の基盤強化」、Vision2は「研究力強化と社会的課題を解決するための共創拠点の形成」、Vision3は「地域のダイバーシティ環境推進拠点機能の強化」、そして、Vision4は「大学ガバナンス機能の強化」であり、それぞれのVisionで取組む内容をまとめてあります。詳しくは大学のホームページをご覧くださいいただければと存じます。

2021年度の卒業式は、さいたまスーパーアリーナで学生、保護者2000名以上の出席のもと盛大に行うことができました。本学としては、3年ぶりに学生が一堂に会する卒業式となりました。4月6日には、同所で、入学式と、新2年生、新3年生を対象にした歓迎式を開催いたします。徐々にではありますが、大学を本来のあるべき姿に戻していきたいと思えます。

一方、大学へほとんど来られなかった新2年生、新3年生の中には、不安を抱えたり、孤立したりしている学生がいるかもしれません。教職員の皆様におかれましては、この新年度のタイミングで、ご担当の学生の状況をチェックして頂き、学生のケアに一層の配慮をお願い申し上げます。

今年度もいよいよ始まります。教職員の皆さんの協力のもと、感染状況を見ながら、本学の教育、研究、社会貢献の活動をコロナ前の状態に戻すとともに、より一層の機能強化を進めていく所存です。本年度もどうぞよろしく願いいたします。

令和4年4月1日

埼玉大学長 坂井 貴文